



## 教科指導力向上研修会の様子について

学力向上指導員の皆さん、今日的な課題を踏まえた授業を提供していただきありがとうございます。指導案についても大変参考になったと好評でした。教科指導力向上研修会は、令和5年度も実施の予定です。先生方の参加をお待ちしております。

令和4年11月24日（木）【中学校英語】  
会 場：白石市立福岡中学校  
提供授業：2年「Unit6 Research Your Topics」



外国人に対して複数の商品の違いを説明する場面を設定し、その違いを伝えるために、自分で学んだ表現を用いて話すことに取り組む授業でした。

「お助けチャート」を活用したり、メモを見ながら話してもよいことにしたりと個に応じた指導が展開されました。

### 《参加者の感想から》

- Self-study がとてもよく生かされた授業で、生徒の変容が見られ学ぶ点がたくさんありました。一人一人じっくりと課題に向き合い個の学びの上に協働があるという授業の形を見せていただきました。生徒たちが互いに多様な考えに触れ向上していく姿がすばらしかったです。（小学校）
- 小中連携を話題として協議を行いました。中学校の教員として考えるべきこと、配慮するべきことのヒントがたくさんありました。求められる英語力が変わっていることも頭に入れて、これからの指導に当たっていききたいと改めて思いました。（中学校）

令和4年12月2日（金）【中学校社会】  
会 場：角田市立北角田中学校  
提供授業：2年「明治維新と近代国家の形成」



「欧米とアジアの関係が変化する中、なぜ江戸幕府はほろんだのだろうか。」を中単元の課題に設定し、ペリーの来航が幕府の外交政策に与えた影響について生徒に考察させ、表現させる授業でした。電子黒板を効果的に活用し、生徒の興味・関心を引き出していました。

### 《参加者の感想から》

- 単元を貫く課題での「光と影」のような多面的・多角的な視点を生徒に考えさせるテーマ設定や小学校でのレディネスを生かした授業づくりなど大変参考になりました。また、ICTの活用の仕方も含め、授業研究が本当に大事だと感じました。（中学校）
- 指導案の作成の仕方が大変参考になりました。展開を見ただけで授業の内容がイメージできました。指導者が授業で大切にしていることがよく伝わり、多面的・多角的な見方や考え方を身に付けさせるための指導法、ぜひ、実践していきたいと思えます。（中学校）

令和4年12月7日（水）【中学校国語】  
会 場：蔵王町立宮中学校  
提供授業：3年「何のために『働く』のか」

読書を通して自分の生き方や社会との関わり方を考えるという目標に向かって、タブレットや求人情報、上級学校の学校案内をもとに調べさせ、将来の計画を立てた後に、級友に発表する授業でした。生徒は、自分の足りないところ、努力していきたいところも発表するなど今後の生き方にもしっかりと触れていました。

《参加者の感想から》

- ・授業を参観したり、協議をしたりして「自分の考えを深める、広げる活動」の大きさを認識しました。また、単元の目標を達成するために、どのような授業をするか、どこまで「プラスアルファ」の授業をするか改めて自身を振り返るきっかけにもなりました。（中学校）
- ・他の先生方が、授業内にどのような工夫をしているのかということを知ることができました。国語科は、生徒の興味に差が出やすかったり、分野による得意、不得意の差が出やすかったりするので、すべての分野で満遍なく学習が進められるよう、計画を立てていきたいと思いました。（中学校）

令和4年12月19日（月）【中学校美術】  
会 場：大河原町立大河原中学校  
提供授業：2年「和の色を楽しむ～季節を彩る木目込みまり～」

伝統工芸木目込みの技法を身に付けさせるために、参考作品を見せて色合いの工夫に気付かせたり、制作手順を分かりやすく指導したりと見通しを持たせて制作に取り組みさせていました。布を木目込むことが難しい生徒には、個別に声掛けし、配慮も適切でした。

《参加者の感想から》

- ・中学における美術の評価について、「不登校」という面から知ることができました。指導と支援を教師自身がしっかり見分けられるようになりたいと思います。また、題材は資質を伸ばすきっかけであることを小学校の図工でも大切な視点として指導していきたいと思います。（小学校）
- ・魅力的な題材を参観させていただきました。生徒たちがじっくりと制作に取り組み、自分の作品をじっくり見つめる（対話する）姿が印象的でした。生徒をその気にさせるための和の色やデザイン等を考えるワークシートの活用が参考になりました。（中学校）

令和4年12月21日（水）【中学校数学】  
会 場：柴田町立船岡中学校  
提供授業：1年「平面図形」

図形の移動に着目し、2つの合同な図形の関係について考察させたり、表現させたりする授業でした。生徒同士が学び合い、理解を深めていく姿が見られました。

《参加者の感想から》

- ・小学校の教員も、中学校の教科書を見て授業に臨むことで、系統性をさらに意識して指導できることが分かりました。タブレットの積極的活用もしていきます。（小学校）
- ・評価の仕方、生徒の見取りに対して、新たな視点をいただきました。また、授業を組み立てる際、「何を今回の授業でやらないといけないのか」、この部分を核として、しっかりと教材研究をする必要があると改めて感じました。その際、小学校の内容にも目を通し、つながりを意識したいと思いました。（中学校）